

この文書について

- この文書には、製品の使用および保守に関する手順が記載されています。本文中に含まれる図、チャート、写真、およびその他の情報は、説明および参考目的のみにとします。
- 本文中に記載されている情報は、ファームウェアの更新またはその他の理由により、事前の通知なしに変更される場合があります。最新のバージョンは、Hikvisionのウェブサイト（<https://www.hikvision.com/>）でご確認ください。印刷版がない限り、印刷版 HIKVISION デジタルアクアノロジー株式会社（以下「HIKVISION」といいます）は、明示または黙示のいかなる保証いたしません。
- このドキュメントは、製造サポートの専門知識を有する専門家の指導と支援を受けてご使用ください。
- この製品について
この製品は、購入された国または地域でのみファクササービスサポートを受けることができます。
- 知財権に関する承認
HIKVISIONは、本マニュアルに記載された製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許権を保有しています。これは、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなど）はすべてHIKVISIONに帰属します。

は必ず重要図と図は、書面による許可なく、いかなる手段によっても、引用、複製、翻訳、または改定されること書面による許可なく、いかなる手段によっても行うことができません。

● **HIKVISION** およびその他の **HIKVISION** の商標およびロゴは、本書中に於いて **HIKVISION** の財産です。

● その他の商標およびロゴは、それぞれの所有者の財産です。 法的免責事項

● 適用される法律で許される最大限の範囲において、本書および製品（ハードウェア、ソフトウェア、ドキュメント）は、現状有姿のまま、一切の電卓およびエラーを含む状態で提供されます。 **HIKVISION** は、明示的または黙示のいかなる保証いたしません。これには、商品性、

製品は、画質のいく品質または特定の目的への適合性を保証するものではありません。本製品の使用は、お客様の責任において行ってください。いかなる場合においても、**HIKVISION** は、特許権、商標権、付随的権限、または他の権利（商標登録の権利、営業の中断を含むこれらに限定されない）を含むいかなる損害についても、お客様に対して責任を負いません。

データ損失、システムの破損、またはドキュメントの損失、複製違反、不法行為（過失を含む）、製造責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に起因する損害または損失について、**HIKVISION** がそのような損害または損失の可能性を事前に通知されていた場合であっても、一切の責任を負いません。

● あなたは、インターネットの性質上、内蔵するセキュリティリスクが存在することを承認します。 **HIKVISION** は、ソフトウェア複製、ハッキング攻撃、ウイルス感染、またはその他の不正行為をすべて自己責任で防衛することを要する商業動作、プライバシー漏洩、またはその他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、**HIKVISION** は適切な技術サポートを提供します。

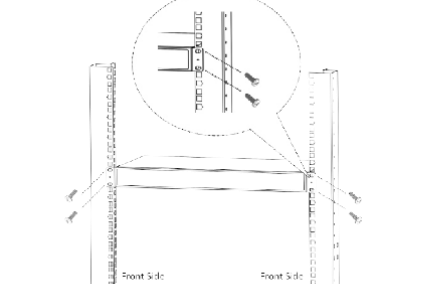
● あなたは、この製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、あなたの使用が適用される法律に準拠していることを担保する責任は、あなたのみで帰属します。特に、あなたは、第三者の権利（*paternity rights*、知財権、商標権、データ保護その他のプライバシー権を含む）に干渉しないことを保証し、あなたが本製品を使用する責任を負います。 お客様は、本製品製造元の国または製造、化学物質または有害物質の製造または製造、破壊等または安全でない機器やシステムに起因するいかなる損害、または人身被害を支援する目的での使用を含みます。

● 本書と連動する図表の間に誤植が生じた場合、後者が優先されます。

● 使用 HIKVISION デジタルアクアノロジー株式会社、著作権保有者。

1

4. スイッチをラックに当て、L字型ブラケットの穴がナットが固定されている穴と一致するように配置してください。
5. ブラケットをラックの前面に、両側それぞれに自作のM5またはM6のネジ2本で固定し、デバイスを安定して取り付けます。



3 スイッチの接地

接地は、雷による過電圧や過電流を迅速に放電し、スイッチを保護し、人身安全を確保するために使用されます。必要に応じて適切な接地方法を選択してください。

5

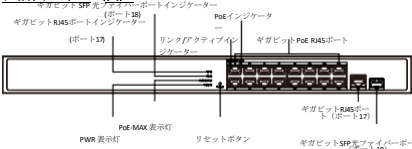
警告の表示

本マニュアル中に使用される記号は、以下のとおり定義されます。

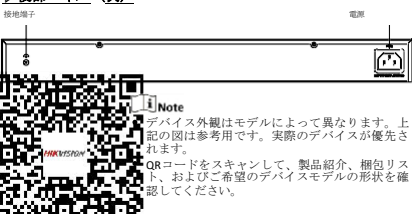
記号	説明
	本文の重要なポイントを強調したり補足したりするための追加情報を提供します。
	潜在的な危険な状況を示し、回避されない場合、機器の破損、データ損失、性能の低下、または予期しない結果を引き起こす可能性があります。
	高いリスクレベルの危険を警告し、回避されない場合、死亡または重傷を負う結果を引き起こす可能性があります。

1 スイッチについて学ぶ

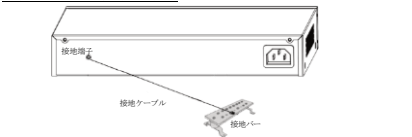
2 前面パネル（例）



3 後部パネル（例）

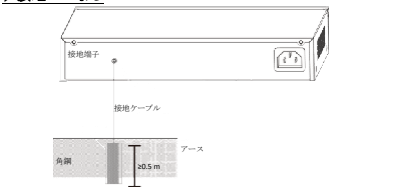


4 接地バーを使用する場合



- 手順
1. 接地ケーブルの一端を接地バーの接地端子に接続します。
 2. 接地ケーブルのもう一方の端を機器の接地端子に接続し、ネジを固定します。

5 接地バーなし



- 手順
1. 泥地中にアングル鋼または鋼管（0.5m以上）を埋設します。
 2. 接地ケーブルの一端を角鋼または鋼管に溶接し、溶接部を電気めっきまたはコーティングで保護します。
 3. 接地ケーブルのもう一方の端を機器の接地端子に接続します。

5

2 スイッチのインストール

実際の要件に応じて適切なインストール方法を選択してください。以下の図は参考用です。

8 最終的に

- デスクトップ、壁、またはラックが安定していて十分な強度があることを確認してください。
- 部屋を十分に換気してください。デバイス周囲に少なくとも10 cmの放熱スペースを確保してください。
- ラックマウントの場合、隣接する2つのデバイス之间に垂直方向に少なくとも1.5 cmの距離を保ってください。

3 デスクトップ設置

デバイスをデスク上に設置してください。

4 壁掛け取り付け

- 手順
1. 2つの吊り下げ穴間の距離を確認してください。

2. 壁に2本のM4ネジを挿入してください。
3. 吊り穴をネジで合わせ、装置を吊り下げてください。ネジに吊り下げます。

Note

- 壁の耐荷重容量は、装置の重量の3倍以上である必要があります。
- 2つのネジ間の距離が、2つの吊り穴間の距離と等しいことを確認してください。
- ネジの本体を壁から少なくとも4mm以上外側に残してください。

4 スイッチを同等のデバイスに接続します

- **RJ45ポート**
ネットワークケーブルを使用して、デバイスをIPカメラ（IPC）、NVR、スイッチなど、同等のデバイスのRJ45ポートに接続します。
- **SFP光ファイバーポート**
デバイスに光ファイバーポートまたはコンボポートがある場合、光ファイバー接続用の光モジュールをそれぞれ光ファイバーポートに挿し込み、光ファイバーで接続します。
- ネットワークケーブルに接続されている場合、コンボはRJ45ポートとして機能します。
- 光モジュールを接続し、光ファイバーに接続した場合、コンボは光ファイバーポートとして機能します。
- ネットワークケーブルと光ファイバーの両方に同時に接続されている場合、コンボは光ファイバーポートとして機能します。

- 手順
1. ペアになった2つのSFP光モジュールを光ファイバーで接続します。
 2. SFP光モジュールの一端を持ち、SFPポートスロットにスムーズに差し込み、光モジュールとスイッチが密接に接するまで押し込みます。
 3. スイッチの電源をオンにし、LINK/ACTインジケータの状態を確認します。
－インジケータが点灯している場合、リンクが接続されています。
－インジケータが点灯していない場合、リンクが切断されています。回線を点検し、相手側のデバイスが起動していることを確認してください。

Caution

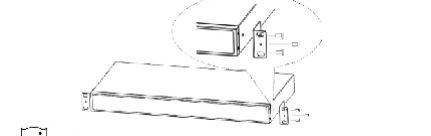
- シングルモード光モジュールはベアリングが必要です。
- 光ファイバーを過度に曲げないでください（曲げ半径：≥ 10 cm）。
- 光ファイバーコネクタに直接目を向けしないでください。レーザーが目には有害です。

7

3 ラック取り付け

手順

1. ラックの接地と安定性を確認してください。
2. パッケージに同梱されているM3ネジを使用して、L字型ブラケットを機器の両側に固定してください。

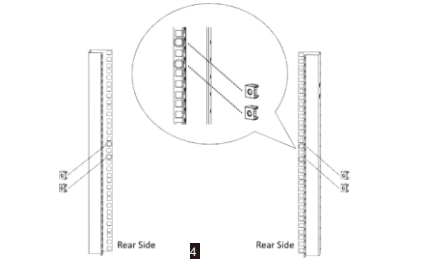


Note

L字型ブラケットをデバイスに固定するためのネジの数は、デバイスモデルによって異なります。

3. 後部に、事前に用意したM5またはM6のナットを2つ固定してください。

両側にそれぞれラックを取り付けてください。



5 スイッチの電源をオンにし

- パッケージに同梱されている電源ケーブル（電源アダプターがある場合はそのアダプターも）を使用して、デバイスに電源を供給してください。
- スイッチの電源を入れる前に、以下の点を確認してください：
- 動作電源が定格入力規格に準拠していること。
 - ポートケーブルと接地ケーブルが正しく接続されていること。
 - 屋外配線がある場合は、ケーブルに避雷針と避雷器を接続してください。

Caution

電源ケーブルとネットワークケーブルは一緒に配線しないでください。そうすると、PDまたはスイッチポートが焼損する可能性があります。

6 Hik-Partner Proでスイッチを管理する

HIKVISIONデバイス（スイッチ、NVR、IPCなど）をバッチ処理でアクティベートし、Hik-Partner Proアプリでデバイス管理を行うためのサイトにデバイスを追加できます。

最終的に

- Hik-Partner Proアプリをインストールしてください。
- デバイスを電源オンにし、ネットワークに接続します。
- スマートフォンをWi-Fiネットワークに接続してください。Wi-Fiネットワークに接続できない場合は、USB-C RJ45アダプターを使用してスマートフォンをLANに接続してください。
- スマートフォンとネットワーク内のデバイス（スイッチ、NVR、IPCなど）が同じLANに接続されており、アクティブになっていることを確認してください。

Note

以下のネットワークボロジは参考用です。実際のネットワーク構成に応じてデバイスを接続してください。

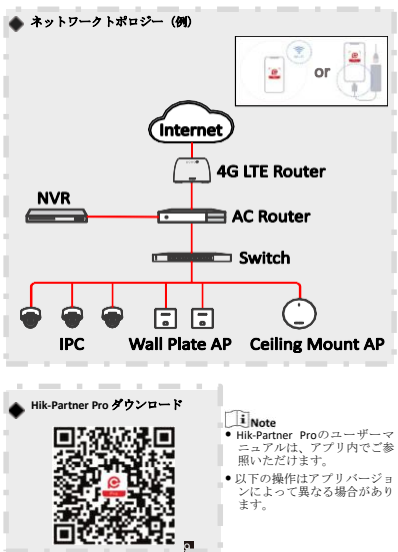
8



スマート管理スイッチ

クイックスタートガイド

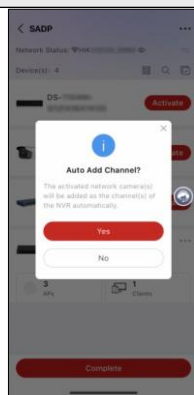
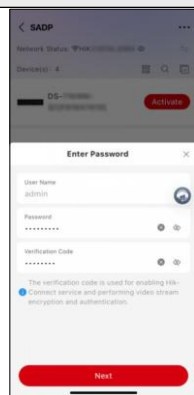
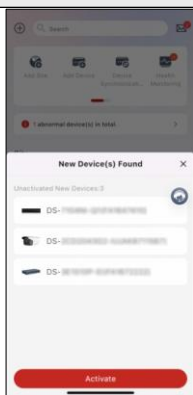




ステップ2 デバイスをサイトに追加

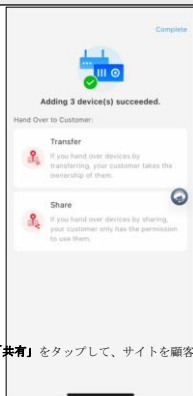
- オプション: 新しい個人用またはビジネス用のサイトを作成するか、既存のサイトを選択します。
- NVR、スイッチ、ACルーターを選択し、OKをタップしてデバイスをサイトに追加します。

ステップ1 デバイスのバッチアクティベーション



- Hik-Partner Pro アプリを開き、**[アクティベート]**をタップして、検出された新しいデバイスをまとめてアクティベートします。アプリは自動的に同じLAN内の使用されていない新しいデバイスを検出し、表示します。
- ユーザー「admin」のパスワードと検証コードを入力し、**次へ**をタップしてください。
パスワード: 8文字以上で、大文字と小文字の英字、数字、特殊文字の組み合わせを3つ以上含む必要があります。
ユーザー名またはその逆、「123」または「admin」（大文字小文字区別なし）、4つ以上の連続する増加または減少する数字（例: 「1234」や「4321」）、または4つ以上の同一文字（例: 「1111」や「aaaa」）を含んではいけません。一般的な危険なパスワードを使用しないでください。
検証コード: 6～12文字で、大文字、小文字、および数字を含む。
- オプション: **はい**をタップすると、アクティブ化されたIPCをNVRのチャンネルとして自動的に追加します。
いいえをタップした場合、アクティベーション完了後にNVRにチャンネルを手動で追加する必要があります。
- デバイスがアクティブになり、IPCがNVRのチャンネルとして追加されるまでお待ちください。その後、「**完了**」をタップしてください。

ステップ3 顧客にサイトを引き渡す



- 「**転送**」または「**共有**」をタップして、サイトを顧客に引き渡します。
 - 転送**でデバイスを引き渡す場合、顧客がそれらの所有権を取得します。
 - 共有**でデバイスを引き渡す場合、顧客はデバイスを使用する権限のみを取得します。
- オプション: 追加されたデバイスのネットワークポロジを表示するサイトを選択します。

⑦ 詳細情報を取得

以下のQRコードをスキャンして、HPPの操作動画をご覧いただくか、デバイスのウェブおよびクライアントユーザーマニュアルを取得、またはFAQの回答に関するサポートを迅速に受けられます。

